



## 楽しい学校 元気な校区 地域と共に伸びる 南界小学校

校長 芝原 には

これは、南界小学校のキャッチフレーズです。3年前に本校に着任して、校門に立ったとき、このキャッチフレーズの看板を見て感動し、身が引き締まる思いがしたことを思い出します。そしてここ数か月の行事をとおして、南界の子ども達が地域みなさんに育てていただいていることを実感しています。

9月28日に実施した「校区合同秋季大運動会」。心配していた天気の影響もなく、盛大に実施することができました。子ども達も、練習の成果を精一杯披露できたと思います。成績発表で白組の優勝が告げられたとき、少し、間があったことに気がついたでしょうか？実は、練習の段階では「今年は、赤が優位かな。」という結果が続いていたのです。そんな中での白の優勝だったので、子ども達は「最後まで諦めない」ことの大切さを学んだと思います。また、赤組の子達が心からの拍手を送ることができたのは、この日のスローガン「勝っても負けても最高の運動会に！」が達成できたからでしょう。お互いが全力を尽くすことで、勝っても負けても相手を認めることができるのだと思います。



〈伝統の緑門の前で〉

また、閉会の挨拶で区長さんが「予定より早く進行できた。」とおっしゃいました。これは、まさしく南界校区の力だと思います。運動会で、時間が押すのは、ほとんどの場合、地域種目の編成に時間がかかるからです。ところが、南界校区では、前の種目が終わる時には必ず編成が終わっている……。選手みなさんはもちろんのこと、編成係の方のお力は大きいと思います。めだたない地味な仕事ですが、実は、運動会成功の立役者と言ってもいいでしょう。こういう姿を見て、子ども達は育っていくのだと思います。



全員でも敵いませんでした…

さらに、18日(土)に行われた「校区相撲大会」。今年も、素晴らしい大会となりました。小学1年生から30代の方までが土俵に上がり、熱の入った取組が繰り広げられました。子ども達の取組も土俵際で粘りをみせる相撲が多く、子ども達の負けん気を見ることができました。一般の相撲では、いつもは柔和なお兄さん達の真剣な様子に、子ども達も食い入るように見ていました。確実に「南界魂」が引き継がれています。この1週間は26日(日)開催予定の町の相撲大会に向けて練習を積んできました。同時に

6年生は、11月9日の町駅伝大会に向けた練習も始まりました。南界の先輩方の「背中で見せる教育」に心から感謝し、両大会での健闘をお祈り申し上げます。ギバレ！南界！！

### サンライフ通信

11月1日から7日まで「地域が育むかごしまの教育県民週間」です。今年も、毎日、自由参観を実施します。ぜひ、教室の子ども達の様子を見にいらしてください。また、特認校周知のための体験入学も実施します。野間小に通うお孫さんやお知り合いがいらっしゃいましたら、ぜひ、お声かけください。

11月の「古市家塾」は開催予定の8日(土)に野間小のPTAバザーが行われ、町PTA連絡協議会としても協力することになったため中止します。みなさん、野間小のバザーへ出かけましょう。次回の「古市家塾」は12月13日(土)「クリスマスリース作り」の予定です。